

この度、普及拡大委員長を拝命した(有)板垣商店の板垣です。どうぞ宜しくお願いいたします。写真の文字は娘が書いてくれた当社のモットーです。私は笑顔が出ないというかとつつきにくいと言われます(全然そんなことはないのですが)。感謝の心はいつも持っているのですが、どうやらそれと笑顔が結びつかないことがあるようです。当社は小売業でお客様と接する機会が多いのでとにかく笑顔です。

2年前に布施副会長と梅津MS副委員長の熱心なお誘いで入会させていただきました。入会した頃の私は、MSには全然行きませんでした。理由は冬で寒く、しかも金曜日の飲み会が多かったせいです。飲み会があってもMSに行く



笑顔と感謝

笑顔と感謝で普及拡大!!

普及拡大委員長 板垣喜代志

ようになつたのは2月を過ぎてからでした。早朝野球をやっていたので朝起きは特別問題なかったのですが、酒を飲むことで眠さに負けていたと気づいたのです。何のために蔵王に入会したのか。その原点に戻ればそれは自分を変えるためです。ですから葉の中に『自己改革』と大書して、それを目標にして倫理をずっと実践していくと決心したのでした。

そして2年が過ぎ、社員にもそろそろ倫理を理解していただく時期なのではないかと思うようになりました。まずは社長が土曜日早朝にどんなことをやっているのか?からですが、朝礼研修の受講、MSへの参加、講演会の聴講などを経て、皆でじつくりと取り組むたいと考えております。

倫理法人会は朝だけ出ればよいのかなと思ひ、ほんの軽い気持ちで入会したのですが、役員になってみて、こんなに忙しい法人会であったとは思いませんでした。でも、それ以上には皆さんの素晴らしい出会いがありました。私にはこの出会いの方が大切であったと思いますし、これからもうであると思います。

今年2月には富士研の研修に参加いたしました。蔵王から参加したのが、池田会長と鈴木相談役と私の3名でしたが、これはとても素晴らしい体験でした。富士研に行ったら者同士が、お互いに良い勉強になる存在でした。

また、各単会の会長や、県の幹部の方とのつながりができたことも良かったです。バスの中は賑やかで、楽しく仲間作りができましたし、倫理法人会発祥の地である千葉の方と一緒に研修できたことも印象的でした。

とは言え、研修の成果はなかなか身につくものではありません。

ません。研修でたてた目標に向けて自分を変えていくためには、富士研にもう一度行かなくてはなりませんし、せめて3回は行きたいと思っています。さて、最近少しづつ会員企業が増えてきています。これは大変喜ばしいことです。こうした新しい仲間づくりの活動と同時に、会長と共に会員企業を訪問して、蔵王の活動をご報告させていただくつもりです。他の委員会と連携を取りながら、1人でも2人でも多く「感動創輪」に参加していただけるように頑張ります。

最後に、趣味は野球です。私は板垣商店ライオンズのオーナーです。野球部の経験は無いのですが、野球部出身者には絶対負けたくない!という思いでやってきました。古希まで野球は続けます。実は甲子園球場を借りて野球をやるといふ計画を練っています。是非実現したいと思っています。

11月のMS

●11月7日(土) 第286回
『和を以て貴しと為す』
講師:(社)倫理研究所
普及事業部企画室
研究生 高橋哲也 様

●11月14日(土) 第287回
『ビジネスとおしゃれの関係～相手の心を一瞬でつかむ方法～』
講師:ヘア・ウィズ・ウォーター
店長 赤塚治美 様

●11月21日(土) 第288回
『美味しいお米を届けるための稲作農家の挑戦』
講師:黒澤ファーム
代表 黒澤信彦 様

●11月28日(土) 第289回
『命にありがとう』
講師:栃木県倫理法人会
副会長 小倉睦美 様

10月のモーニングセミナー便り

いい時代が来た

(有)アルセ・エコ開発
代表取締役 有瀬 功様

▼名刺の出し方にマジックを応用してみたところ、相手の方から一度で覚えてもらえるようになりました。▼ところで、いい時代になったと思いますか？心が評価される時代になりました。▼以前は学歴は大切にされても、性格の良し悪しは評価されることはありませんでした。今は違います。性格の悪い人は会社に来なくても結構ですという時代になりました。▼生産能力よりもお年寄りに優しくて、コミュニケーションが上手く、職場を明るくしてくれる人が求められています。▼私は、「残すこと」と、「楽しむこと」の二つを大切にしています。▼私たちの周りにあるすべてが先人が残してくれたものです。祖先が残してくれた命もそうです。▼また、1日を過ごすにも、眉間にしわを寄せて暗くして悩みながら働くのと、笑顔で過ごすのとどちらが良いかということです。

今を生き抜く「コツ」とは！

(社)倫理研究所 法人スーパードバイザー
都機工(株)代表取締役 長橋 護様

▼倫理と出会って中小零細企業の経営を知りました。それは――

▼コンセプトは「質の追求」(大企業は規模の追求)。

▼目的は「安全経営・内容重視」(大企業は成長拡大)。

▼マーケットは「地域密着」(大企業は全国ネット)。

▼人は「パートナー・同志・戦友・かけがえのない仲間」(大企業は金儲けの道具)。

▼人は、「育てる、また育てることを学べる、長所を見つける能力を持てる存在」(大企業はいくらでも集まってくる)。

▼組織は「家族・ファミリー」(大企業は金儲けの手段)。

▼社長の言葉は「心の支え」(大企業は命令)。

今、経営者に必要な

最先端の健康法

世界保健機関日本財団
常務理事 川原 茂様

▼世界保健機関は1999年の総会で健康の定義として以下の定義を「提案」しています。『健康とは身体的・精神的・霊的・社会的に完全に良好な動の状態であり、たんに病気あるいは虚弱でないことではない。』▼病気は医者が治すものではありません。自分が治すのです。

闘病生活からの学び

山形県倫理法人会 拡大委員長
進和ラベル印刷(株) 代表取締役 晋道 純一様

▼物事がうまくいく人は「可能性」から、うまくいかない人は「問題」から考えるとか。▼尊敬する稲盛

氏によれば、人生と仕事の結果＝考え方×熱意×努力であるそうです。

▼熱意と努力は0～100ですが考え方はマイナス100～プラス100まであります。考え方が例えマイナス1でもその積はマイナスです。やはり正しいものを考え方が必要なのです。私はこれを頭に入れて物事を決断しています。▼病気の原因は、焦りでちやちやかと急ぐ、届かない高い目標で自分を追い込んでしまう、問題を深く掘り下げて不安や心配になる、昔のことを断ち切れない親との確執、家庭をまかせつきりで仕事一途、うまくいかないとどうなるかと天の領分である結果を気にする、そしてストレスの蓄積でした。▼人は病気で死にません。寿命で死ぬのです。倫理の本を枕元に積み、むさぼり読んで闘病生活を送りました。▼倫理は病気と苦難の漢方薬です。感謝・感謝・感謝。

山形国際ドキュメンタリー

映画祭について

実行委員会
事務局長 高橋卓也様

▼昭和31年の山形祭りの8ミリを観ました。▼山形は世界で3番目の規模です。実は暮らしのベースがあつて、政情が安定していて平和であることが国際映画祭を開催できる要因なのです。▼映像と暮らししていく人々に、映像を批判的に観れる教育が日本に必要です。



会長の元氣、モチアゲな話

第2回

小さなことに磨きを

昨年度、山形県安全運転管理者協議会連合会(鈴木相談役が会長)より、弊社はモデル事業所として表彰されましたが、この10月7日「わが社の安全運転管理」と題して、過去の交通事故状況、事故防止に取り組んでいる事、他で参考になる事などの講話依頼があり、県総合交通安全センターで管理責任者より話をさせて戴きました。

事故状況では過去3年間で9件あり、内7件がもらい事故、時間帯では通勤帯がほとんどで11月から2月の冬季に集中、止まってくれるだろう、見ての「だろ」運転によるものが最も多く、これからの冬場での運転に充分注意が必要との話を、また取り組みとしては、のぼり旗掲揚、始業、月次点検の励行、社用車には運転手の名前掲示、全車両タイヤ留めの準備、安全衛生委員会(安全パトロールで車両、建物、設備機械、環境等のチェック改善)、各種資格取得率全国トップクラス(全国販社でも取得率の低いところは事故が多い)、活力朝礼導入、等の話をさせて戴きました。

当たり前のことをあたりまえに「小さなことに磨きをかける」倫理の教えの継続した実践が如何に大切かを再認識したところです。

(蔵王会長 池田修一)

